

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート					平成 29 年度事後評価・決算		所管課		環境課		担当班		環境政策班	
事務事業名		コード	19500 環境衛生事務費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別					
② (環境基本計画)(地球温暖化対策実行計画)				一般	4	1	4							
施策 体系	基本施策	23	良質な環境の保全	根拠法令	旭市環境基本条例、地球温暖化の推進に関する法律									
	施策の展開	43	自然環境の保全	戦略事業	208	環境基本計画の見直し及び地球温暖化対策実行計画の策定								
	施策の展開			戦略事業										
事業種別														
☒ 主な事業														
☒ 国土強靱化地域計画														
☒ 新市建設計画														
☐ 定住自立圏構想														
☐ 主要事業														

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	I 自然豊かな郷土を次世代に引き継ぐため次期「環境基本計画」を策定して環境施策に取り組んでいく。 II 平成25年度策定「地球温暖化対策実行計画」に基づき平成24年度の温室効果ガス排出量を基準として平成26～30年度までに3.8%削減するための取り組みを行う。旭市総合戦略においては平成26年度の温室効果ガス排出量を基準として平成27～31年度までに3.8%削減を目標としている。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
I・旭市環境基本計画は、旭市環境基本条例第9条の規定により策定する。II・法により地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のための施策を行うこととされている。	・平成29年度環境基本計画を策定し、目標とする環境像の実現に向けた施策を展開していく。 ・地球温暖化対策推進実行計画で旭中央病院は対象となる組織・施設から除外となった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
身近な生活環境や廃棄物分別への苦情関心が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 委託料 (基本計画)	0	旭市環境基本計画策定業務委託		0	0	5,778	0	0
② 特定財源の内訳 (29年度の決算)		単位	千円	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
1. 国庫支出金	0			0	0	5,778	0	0
2. 都道府県支出金	0							
3. 地方債	0							
4. その他	0			0	0	5,778	0	0

前年度増減理由	環境基本計画策定完了により委託料減のため
---------	----------------------

従事職員数	常時	3人	最大	5人	×	11日	=	延べ	55人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

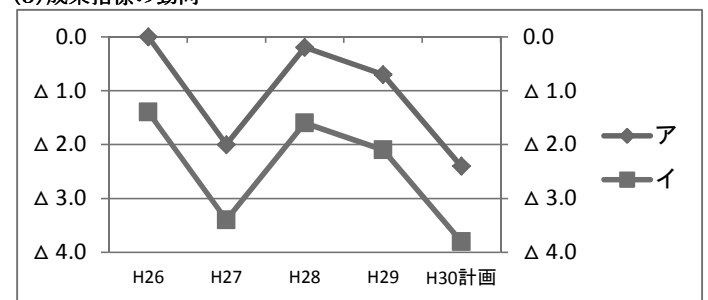
① 主な活動		③ 活動指標名		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
29年度実績 (29年度に行った主な活動)		ア 環境審議会・きれいな旭会議開催回数		回	3	3	6	3	5
きれいな旭をつくる会議2回、環境審議会1回、合計3回 平成29年度における温室効果ガス排出量調査 (各課へ依頼) 及び結果の公表 (HP・広報等)		イ 電気使用量 ※中央病院除く		kw/h	11,686,652	11,537,557	11,630,715	11,680,839	11,385,541
② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
目的	対象市	ア (平成26年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く		%	0.0	△2.0	△0.2	△0.7	△2.4
	意図	平成26年度を基準に、平成27～31年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(旭市総合戦略)							
目的	対象市	イ (平成24年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く		%	△1.4	△3.4	△1.6	△2.1	△3.8
	意図	平成24年度を基準に、平成26～30年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(地球温暖化対策実行計画)							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
④⑤	④	(4)		
	⑤			
	⑥			
⑦⑧	⑦			
	⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向
	③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	
		平成30年度末	地球温暖化対策推進実行計画の改訂			